



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 生駒 祐健  
幹事 渡邊 國和  
SAA 峯口 馨  
会報小委員長 嵐 繁雄

◎例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9  
◎例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内  
TEL0246-62-3737

第 2549 回 例会 平成 26 年 4 月 23 日(水・晴)

2013～2014年国際ロータリーのテーマ

## ゲスト

大阪ロータリークラブ  
株式会社 代表取締役社長 葛田 守弘 様

## 会員卓話

富澤 藤利 会員

### ◎会長報告 - 生駒祐健会長

皆さん、今日は。去る4月13日は勿来ロータリークラブ恒例の観桜家族例会でございました。多数の会員、ご家族のご出席を頂戴し、富澤親睦活動小委員長始め委員各位の御蔭で楽しく有意義に花見をすることが出来ました。ここに改めて感謝申し上げます。その花見の時期も過ぎ早くも葉桜の頃になり良い季節となったようです。さて、昨日はいわき分区10ロータリークラブによる豊間3地区桜基金の贈呈式がございました。豊間生活サポートセンターに於て午後3時より行われ、そちらに出席して参りました。豊間、薄磯、沼ノ内の沿岸部約4キロに渡って防災緑地の内陸部に地区公園を作る計画です。そこに桜等を3,000本の植樹をする計画に対し、いわき10ロータリークラブから1人1,000円ということで拠出し70万円の贈呈式が昨日行われました。また、4月26日は第35回近隣地区中学校対抗ソフトテニス大会が予定されています。その他に戦略会議等もあり皆様には何かとご多忙中の所ご出席をお願いすることになります。どうぞ宜しくお願い致します。本日の卓話は会員卓話で富澤会員です。楽しい卓話を期待しております。

出席状況 正会員数 50名  
本日の出席率 81.81%

## ロータリーソング 奉仕の理想

— 今月は雑誌月間です —

4つのテスト  
遠藤 嘉一 会員



す。それから最後になりますが本日のお客様をご紹介致します。大阪ロータリークラブからおいでになりました株式会社鴻池組 代表取締役社長であります葛田守弘様です。ご挨拶をお願い致します。私からは以上です。

### ◎ゲスト挨拶

大阪ロータリークラブ

葛田 守弘 様

只今ご紹介を戴きました大阪ロータリークラブの株式会社鴻池組代表取締役社長をしております葛田と申します。今日は榎葉町の除染作業を2年間かけてほぼ終了しまして今日は解散会ということでこちらへお邪魔しました。例会のリストを見ましたらいわき勿来ロータリークラブさんがあるのを見つけてお邪魔致しました。どうぞ宜しくお願い致します。

### ◎幹事報告 - 渡邊國和幹事

・岡崎南ロータリークラブ様から会長と吉野会員と斉藤会員が創立50周年記念式典祝賀会にご出席戴いたということで御礼が届いております。



・4月26日(土)に近隣地区中学校対抗ソフトテニス大会が開催予定です。場所は雨情の里スポーツ広場です。  
・常陽銀行植田支店の小松崎会員より茨城おいしい物めぐりという小冊子を戴きました。茨城県のおいしい物やお土産が買いたい時に参考にして下さい。

### ◎各委員会報告

#### ◇出席委員会

— 佐藤政司小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。また、4月の平均出席率は91.21パーセントで出席率が高い月でした。



#### ◇スマイルボックス委員会 - 山下小委員長

・大阪ロータリークラブ (株)鴻池組代表取締役社長葛田守弘様のメーカーキャップを歓迎して。



生駒会長

・今年の観桜会は桜満開。すばらしい天気で最高でした。富岡、秋山、佐藤(政)、岩元、山下、高瀬、橋本、赤津(善)、林、小松崎、吉野、遠藤、荒川(義)、煙山、嵐、松崎、金成、高萩、清水、鈴木(泰)各会員及び生駒会長、川口会長エレクト、渡邊國和幹事、鈴木副幹事、富澤親睦活動小委員長

・出席奨励賞ありがとうございました。 佐久間会員  
・昨日のいわき勿来ゴルフ愛好会で優勝しました。

吉野会員

・吉野さん、おめでとう。念願の優勝。 矢代会員  
・昨日のいわき勿来ゴルフ愛好会でミドルホールにおいてイーグルを出しました。

山下会員

・前回休んでごめんなさい。 佐久間会員  
・本日早退ごめんなさい。 鈴木修一郎会員

### ◎御礼挨拶 - 高萩勝利会員

過日の母の葬儀に対し、ご会葬戴き誠にありがとうございました。また、皆様より御香典、御供物、花等を頂戴し重ねて御礼申し上げます。



### ◎会員卓話 - 富澤藤利会員

皆さん、今日は。生駒会長より卓話の順番が来たので4月末位にお願いしますとご指示が来ましたのでやらせて戴きます。前回は私が最初に出した本「かかあ天下と空っ風、そして旅ガラス」のお話をさせて戴きました。矢代会員からは旅ガラスの第2弾と言われましたので現在作成中の2作目の「赤い大国と成長センター」について話をしたいと思ひます。皆さんは「赤い大国と成長センター」という言葉を始めて聞いたと思ひますが、赤い大国というのは現在のロシアで旧ソ連邦のことでボルゴグラード「旧スターリングラード」に



（株）呉羽化学が技術輸出したプラント建設に関する話をわかり易く簡潔に話してみたいと思ひます。また、赤い大国といえば現在何かと話題の中国を表します。中国の上海の下の南通市は人口700万人で中国ナンバーワンの繊維の町があります。この町で工場建設した時の話もしたいと思ひます。成長センターというのは東南アジアのシンガポールのことでここにもプラント建設を行いました。以上の3つの海外の国に工場を建設した経緯について述べてみたいと思ひます。まず、お配りした資料をご覧下さい。本の最初は第一章ボルゴグラード・プロジェクトです。なぜこのプロジェクトが始まったかというこの時代に石油化学原料への転換が行われました。そんな時、呉羽化学の持っている技術を海外に売って会社の存続をと計画が出されました。その時私や遠藤会員がボルゴグラードに送り込まれてクレハの存続をはかりました。第二章シンガポール・プロジェクトではクレハが攻めの対応をしようとして耐衝撃性強化ゴムを作る会社を設立し、ここに本格的な化学工場を立地してシンガポールでクレハの事業を拡大するという事をやりました。一番苦労したのは第三章の南通・プロジェクトで交渉が難しいのがソ連人の次に中国人ですから中国人を相手にこの南通市に畜肉ソーセージのフィルムを作る工場を作り事業を成功させることが出来ました。